

歴史的景観保全事業  
平成 30 年度事業実績

横浜市都市整備局都市デザイン室

令和元年 9 月 3 日

## 目次

### 事業の概況

#### 1 歴史的建造物の保全活用

- (1) 歴史的建造物の登録
- (2) 歴史的建造物の認定
- (3) 現状変更行為に対する指導及び助言
- (4) 歴史的建造物の保全契約
- (5) 特定景観形成歴史的建造物
- (6) 歴史的建造物に対する助成
- (7) 歴史的景観保全委員
- (8) 文化財等の活用に関する検討
- (9) その他調査検討

#### 2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

- (1) サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史を生かしたまちづくり保全活用事業」の広報
- (2) 広報紙等の発行
- (3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催
- (4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催
- (5) その他のメディアによる普及啓発
- (6) サイン等の整備

#### 3 その他

- (1) 歴史を生かしたまちづくり要綱の改正
- (2) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営
- (3) 関連団体等
- (4) サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史を生かしたまちづくり保全活用事業」の運用
- (5) 新たな制度検討

#### <添付資料>

- ・ 横浜市認定歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市認定解除歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表
- ・ 横浜市特定景観形成歴史的建造物一覧表
- ・ 第15期 横浜市歴史的景観保全委員名簿
- ・ 歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績
- ・ 歴史的景観保全事業 事業費の推移
- ・ 歴史的景観保全活用事業 横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）寄附額の推移

## <事業の概況>

横浜には、都心臨海部を中心に、開港以来の近代建築や西洋館、土木産業遺構が残されており、郊外部には、農村の風情を伝える古民家や社寺が残されています。これらの歴史的資産を再評価し、まちづくりの資源として位置付け、保全活用を積極的に行っています。

昭和 63 年度に施行した「歴史を生かしたまちづくり要綱」に基づき、景観的に価値の高い歴史的建造物を「登録」し、そのうち、特に重要なもので、将来の保全活用計画について所有者の同意が得られたものを「認定」しています。

この要綱は、歴史的景観の保全を目的としており、外観を保全する代わりに、内部は使いやすいうように改修することができ、凍結的な保存より、現役で長く使い続けてもらうことを狙いとしています。

平成 30 年度は、南区井土ヶ谷上町にある「井土ヶ谷上町第一町内会館（旧井土ヶ谷見番）」及び南区吉野町～宮元町一丁目に架かる震災復興橋梁「吉野橋」を新たに認定し、平成 31 年 3 月末で、「登録」は 205 件、そのうち「認定」は 95 件となりました。

歴史的建造物に認定されると、外観保全、耐震改修（構造補強）や維持管理の費用が助成の対象となります。平成 30 年度は、「中山恒三郎家店蔵及び書院」（平成 29 年度認定）、「横浜指路教会」（平成元年認定）「宇田川邸」（平成 6 年認定）の外観保全工事等の費用の一部を助成しました。

北仲北地区では、再開発事業を伴う大規模なまちづくりの中で、事業者との長年の協議を経て、歴史的建造物が保全されるとともに、その建造物の一つには食事とともにアーティストによる演奏を間近に楽しめる世界的なクラブ&レストランが出店するということが発表されました。

一方、相続問題や開発、耐震性に対する所有者の不安など、歴史的建造物の保全活用を取り巻く環境はますます厳しさを増し、認定や助成事業、横浜市市街地環境設計制度によるインセンティブの付与だけでは十分な対応とは言えず、「歴史を生かしたまちづくり相談室」による相談受付など、個別に所有者に寄り添った対応が求められています。

また、戦後築の建造物の認定も視野に入れ、これまで明文化されていなかった歴史的建造物の評価の考え方を明らかにし、今後の取組の拡大に備えています。

## 1 歴史的建造物の保全活用

### (1) 歴史的建造物の登録

歴史を生かしたまちづくり要綱（第4条）に基づき景観上価値がある歴史的建造物をしています。平成29年度末までに206件の歴史的建造物を登録しました。

平成30年度は、鶴見区大黒ふ頭地先、中区本牧ふ頭地先にある「旧横浜外防波堤北灯台及び南灯台」を新たに登録しました。なお、古民家1件の認定解除に伴う登録抹消がありました。

また、戦後建造物に関する考え方を整理し、新たに「近現代建築物」の項目を追加しました。

#### <登録歴史的建造物総括表>

種 別	～平成29年度	平成30年度	合 計
社 寺	23件	-	23件
古 民 家	29件	▲1件	28件
近代建築(除:西洋館)	55件	-	55件
西 洋 館	38件	-	38件
近代和風建築	6件	-	6件
土木産業遺構	55件	1件	55件
近現代建築物	1件		1件
合 計	206件	0件	206件

### (2) 歴史的建造物の認定

登録歴史的建造物のうち特に重要な価値を有する歴史的建造物について、歴史を生かしたまちづくり要綱（第10条）に基づき認定しています。平成30年度末までに94件の歴史的建造物を認定しました。

平成30年度は、中区にある「旧新井家住宅主屋（八巻家）」の認定を解除、南区井土ヶ谷上町にある「井土ヶ谷上町第一町内会館（旧井土ヶ谷見番）」及び南区吉野町～宮元町一丁目に架かる震災復興橋梁「吉野橋」を新たに認定しました。

#### <認定歴史的建造物総括表>

種 別	～平成29年度	平成30年度	合 計
社 寺	0件	-	0件
古 民 家	15件	▲1件	14件
近代建築(除:西洋館)	32件	-	32件
西 洋 館	22件	-	22件
近代和風建築	1件	1件	2件
土木産業遺構	24件	1件	25件
近現代建築物	0件		0件
合 計	94件	1件	95件

(3) **現状変更行為に対する指導及び助言**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第7条・第15条）に基づき歴史的建造物の現状変更行為に対する指導及び助言を行ないます。

平成30年度は、認定歴史的建造物の改修等、10件の現状変更行為届出書が提出され、個別に指導及び助言を行ないました。

(4) **歴史的建造物の保全契約**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第9条）に基づき歴史的建造物の保全活用について所有者と保全解約を締結しています。

平成29年度末までに2件（「横浜海洋会館」「ジャパンエキस्प्रेसビル」）の保全契約を締結しています。

平成30年度に新規に保全契約を締結した歴史的建造物はありません。

(5) **特定景観形成歴史的建造物**

「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」（第14条の2）に基づき特定景観形成歴史的建造物の指定を行ないます。特定景観形成歴史的建造物に指定されると建築審査会の同意を得て建築基準法の適用除外とすることが可能となります（建築基準法第3条第1項第3号）。

平成29年度末までに2件（「旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）」「旧藤本家住宅主屋及び東屋」）を指定しました。

平成30年度に新規に指定した歴史的建造物はありません。

(6) **歴史的建造物に対する助成**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第21条）に基づき歴史的建造物の保全活用に関する改修、維持管理等に対して助成を行ないます。

平成30年度は、外観保全等3件、維持管理30件に対する助成を行いました。なお、横浜指路教会の外観保全工事には集約促進景観・歴史的風致形成推進事業（国補助）を充当しています。

<平成30年度外観保全等助成対象事業>

- ・ 宇田川邸：調査及び設計
- ・ 中山恒三郎家店蔵及び書院：店蔵の外観保全工事
- ・ 横浜指路教会：外観保全工事

(7) **歴史的景観保全委員**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第22条）に基づき、専門家の意見を取り入れ、歴史的景観の保全と活用を図るため歴史的景観保全委員を置いています。

平成30年度は13名の委員を置き、連絡調整会議を3回（5月29日・12月5日・12月25日）開催し歴史を生かしたまちづくりに関する意見の聴取を行ないました。また、個別の歴史的建造物の保全活用についても各担当委員から意見聴取を行いました。

(8) 文化財等の活用に関する検討

国指定文化財、市指定文化財及び登録文化財等の活用検討や保全に関する技術支援を行ないます。

平成 30 年度は、金澤園（金沢区・国登録文化財）、旧横浜生糸検査所附属倉庫事務所、西谷浄水場ろ過池整水室上屋・西谷浄水場配水池（保土ヶ谷区・国登録文化財）の保全及び活用に関する技術的支援を行ないました。

(9) その他調査検討

横浜市における戦後建造物を含めた歴史的建造物の評価に関する考え方について、明文化の検討を行い、歴史を生かしたまちづくり要綱を改正し考え方を記載しました。

## 2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

### (1) サポートズ寄附金（ふるさと納税）「歴史を生かしたまちづくり保全活用事業」の広報

ちらしを作成し各区役所へ配架したほか、横浜駅構内へのポスター掲出、区民まつり等での広報を実施しました。

### (2) 広報紙等の発行

歴史を生かしたまちづくり横濱新聞など歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けの広報紙を発行しています。

＜平成 30 年度新規広報物発行実績＞

- ・ 歴史を生かしたまちづくり横濱新聞 第 35 号（平成 30 年 11 月 30 日発行）
- ・ 都市の記憶 横浜の土木遺産 復刻版（平成 30 年 9 月発行）

### (3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催

歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けのセミナーを開催します。

平成 30 年度は「第 41 回歴史を生かしたまちづくりセミナー いぶし銀のまちづくり ～生活・文化の視点から、まちを再評価する～」と題し、7 月 15 日に横浜開港記念会館講堂で開催し、約 120 人の参加がありました。

### (4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催

歴史を生かしたまちづくりに関するイベントを区や市民団体と連携し実施します。

＜平成 30 年度後援等実績＞

- ・ 第 18 回国際都市計画史学会横浜大会（企画連携）
- ・ BankART school「歴史的建造物保存活用のターニングポイント」（協力）
- ・ ほどがや歴史まちあるき 2019 [オープンヘリテイジ]（協力）
- ・ ヨコハマヘリテイジセミナー2019「開港都市の町並み保存のダイナミズム」（協力）
- ・ コンサート in ヘリテイジ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち vol.7」（協力）

### (5) その他のメディアによる普及啓発

- ・ 広報よこはま港北区版 6 月号「港北区の建築探訪」

### (6) サイン等の整備

認定歴史的建造物の表示や街路での歴史的建造物案内サインの整備等を行なっています。

平成 30 年度は横浜サポートズ寄附金（ふるさと納税）を充当し「横浜指路教会」「馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）」の路上解説サインを更新しました。

### (7) その他

吉野橋の歴史的建造物認定を記念してライトアップ実験を行いました。（平成 31 年 3 月 31 日）

### 3 その他

#### (1) 歴史を生かしたまちづくり要綱の改正

平成 30 年度は、今後の戦後建築物の認定を視野に入れ、「歴史的建造物の評価の考え方」の明文化の検討を行い、「歴史を生かしたまちづくり要綱」を改正し、考え方を記載しました。

#### (2) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営

歴史的建造物所有者支援の一環として公益社団法人横浜歴史資産調査会と連携し「歴史を生かしたまちづくり相談室」を運営しています。

平成 30 年度は新たに初代神奈川県衛生研究所等 2 件の相談を受けました。その他、複数案件について継続して相談を受けています。

＜歴史を生かしたまちづくり相談室概要＞

- ・ 連絡先：公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）内「歴史を生かしたまちづくり相談室」係
- ・ 電話：045-651-1730 ※毎週水曜日 午前 10 時から午後 3 時まで（年末・年始・祝日を除く）
- ・ F A X 045-651-1730（随時）
- ・ Eメール yh-info@yokohama-heritage.or.jp（随時）
- ・ 郵 送：〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405 号室（随時）

#### (3) 関連団体等

公益社団法人横浜歴史資産調査会と基本協定（平成 27～31 年度）及び実施協定を締結し歴史を生かしたまちづくりに関する取組を推進しています。

また、歴史的景観都市連絡協議会に加盟し情報交換等を行なっています。

#### (4) サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の運用

平成 28 年度から、横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の運用を開始しました。

＜ふるさと納税実績（平成 30 年度）＞

金額：1, 311, 000 円

件数：43 件（個人 38 件、法人 5 件）

#### (5) 新たな制度検討

平成 25 年 11 月に策定した「『歴史を生かしたまちづくり』の推進について」等に基づき、個別の施策について歴史を生かしたまちづくりに関する制度について検討しています。

平成 30 年度は戦後建築の認定を視野に入れた、「歴史的建造物の評価の考え方」の検討を行いました。また、10 月 4 日に議決を経て確定した「横浜市中期 4 か年計画 2018～2021」では、「政策 5 文化芸術都市による魅力・賑わいの創出」の中で、主な事業（新規）として「歴史文化を生かした個性と魅力あるまちづくり」が位置付けられ、計画期間内に「歴史文化基本構想」を策定することを想定事業量として設定しました。



## 横浜市認定歴史的建造物一覧表

平成 31 年 3 月末現  
在  
95 件

	名 称	種 別	所在地	認定時期
1	損保ジャパン日本興亜横浜馬車道ビル	近代建築	中 区	昭和 63 (1988) 年度
2	横浜指路教会	近代建築	中 区	昭和 63 (1988) 年度
3	カトリック山手教会聖堂	近代建築	中 区	昭和 63 (1988) 年度
4	旧横浜船渠第 2 号ドック	土木産業遺構	西 区	平成元 (1989) 年度
5	横浜海岸教会	近代建築	中 区	平成元 (1989) 年度
6	横浜山手聖公会	近代建築	中 区	平成元 (1989) 年度
7	岩田健夫邸	西洋館	中 区	平成元 (1989) 年度
8	横浜第 2 合同庁舎 (旧生糸検査所)	近代建築	中 区	平成 2 (1990) 年度
9	旧澤野家長屋門	古民家	鶴見区	平成 2 (1990) 年度
10	石橋邸	西洋館	中 区	平成 3 (1991) 年度
11	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	平成 3 (1991) 年度
12	関東学院中学校	近代建築	南 区	平成 3 (1991) 年度
13	ホテルニューグランド本館	近代建築	中 区	平成 4 (1992) 年度
14	綜通横浜ビル (旧本町旭ビル)	近代建築	中 区	平成 5 (1993) 年度
15	旧東伏見邦英伯爵別邸	近代建築	磯子区	平成 5 (1993) 年度
16	松原邸	西洋館	中 区	平成 6 (1994) 年度
17	宇田川邸	西洋館	中 区	平成 6 (1994) 年度
18	BEATTY 邸 (ビーティ邸)	西洋館	中 区	平成 6 (1994) 年度
19	エリスマン邸	西洋館	中 区	平成 6 (1994) 年度
20	ブラフ 18 番館	西洋館	中 区	平成 6 (1994) 年度
21	中澤高枝邸	西洋館	港北区	平成 6 (1994) 年度
22	カトリック横浜司教館別館	西洋館	中 区	平成 6 (1994) 年度
23	カトリック横浜司教館 (旧相馬永胤邸)	西洋館	中 区	平成 7 (1995) 年度
24	旧安西家住宅主屋	古民家	瀬谷区	平成 7 (1995) 年度
25	旧大岡家長屋門	古民家	瀬谷区	平成 7 (1995) 年度
26	旧金子家住宅主屋	古民家	戸塚区	平成 7 (1995) 年度
27	旧円通寺客殿 (旧木村家住宅主屋)	古民家	金沢区	平成 8 (1996) 年度
28	新川家住宅主屋	古民家	旭 区	平成 8 (1996) 年度
29	旧臨港線護岸	土木産業遺構	中 区	平成 8 (1996) 年度
30	港一号橋梁	土木産業遺構	西 区	平成 8 (1996) 年度
31	港二号橋梁	土木産業遺構	中 区	平成 8 (1996) 年度
32	港三号橋梁 (旧大岡川橋梁)	土木産業遺構	中 区	平成 8 (1996) 年度
33	長浜ホール (横浜検疫所長浜措置場旧細菌検査室、横浜検疫所長浜措置場旧事務棟)	近代建築	金沢区	平成 9 (1997) 年度

34	旧清水製糸場本館（天王森泉館）	古民家	泉 区	平成 9(1997) 年度
	名 称	種 別	所在地	認定時期
35	横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館）	近代建築	中 区	平成 10(1998) 年度
36	岡田邸	西洋館	中 区	平成 10(1998) 年度
37	横浜地方・簡易裁判所（旧横浜地方裁判所）	近代建築	中 区	平成 10(1998) 年度
38	山手資料館	西洋館	中 区	平成 11(1999) 年度
39	山手 234 番館	西洋館	中 区	平成 11(1999) 年度
40	せせらぎ公園古民家（旧内野家住宅主屋）	古民家	都筑区	平成 12(2000) 年度
41	東隧道	土木産業遺構	保土ヶ谷区	平成 12(2000) 年度
42	大原隧道	土木産業遺構	南 区	平成 12(2000) 年度
43	浦舟水道橋	土木産業遺構	南 区	平成 12(2000) 年度
44	馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）	近代建築	中 区	平成 12(2000) 年度
45	旧横浜市外電話局	近代建築	中 区	平成 12(2000) 年度
46	横浜税関	近代建築	中 区	平成 12(2000) 年度
47	旧英国七番館（戸田平和記念館）	近代建築	中 区	平成 12(2000) 年度
48	ベーリック・ホール	西洋館	中 区	平成 13(2001) 年度
49	山手 76 番館	西洋館	中 区	平成 13(2001) 年度
50	中丸家長屋門	古民家	泉 区	平成 13(2001) 年度
51	響橋	土木産業遺構	鶴見区	平成 13(2001) 年度
52	昇龍橋	土木産業遺構	栄 区	平成 13(2001) 年度
53	山手隧道	土木産業遺構	中 区	平成 13(2001) 年度
54	赤レンガ倉庫	近代建築	中 区	平成 13(2001) 年度
55	日産自動車株式会社横浜工場 1 号館（旧本社ビル）	近代建築	神奈川区	平成 14(2002) 年度
56	旧奥津家長屋門並びに土蔵	古民家	緑 区	平成 14(2002) 年度
57	新港橋梁	土木産業遺構	中 区	平成 14(2002) 年度
58	旧東京三菱銀行横浜中央支店	近代建築	中 区	平成 15(2003) 年度
59	旧富士銀行横浜支店（元安田銀行横浜支店）	近代建築	中 区	平成 15(2003) 年度
60	旧横浜銀行本店別館（元第一銀行横浜支店）	近代建築	中 区	平成 15(2003) 年度
61	伊東医院	近代建築	戸塚区	平成 15(2003) 年度
62	旧ウィトリッヒ邸	西洋館	戸塚区	平成 15(2003) 年度
63	旧居留地消防隊地下貯水槽	土木産業遺構	中 区	平成 15(2003) 年度
64	打越橋	土木産業遺構	中 区	平成 15(2003) 年度
65	旧横浜松坂屋西館	近代建築	中 区	平成 16(2004) 年度
66	桜道橋	土木産業遺構	中 区	平成 16(2004) 年度
67	霞橋	土木産業遺構	西区・南区	平成 16(2004) 年度
68	インド水塔	近代建築	中 区	平成 17(2005) 年度
69	谷戸橋	土木産業遺構	中 区	平成 17(2005) 年度
70	西之橋	土木産業遺構	中 区	平成 17(2005) 年度

	名 称	種 別	所在地	認定時期
71	旧バーナード邸	西洋館	中 区	平成 18 (2006) 年度
72	山手 89-8 番館	西洋館	中 区	平成 18 (2006) 年度
73	旧平沼専蔵別邸亀甲積擁壁及び煉瓦塀	土木産業遺構	西 区	平成 18 (2006) 年度
74	二代目横浜駅基礎等遺構(第二代横浜駅駅舎基礎遺構および横浜共同電燈会社裏高島発電所遺構)	土木産業遺構	西 区	平成 18 (2006) 年度
75	フェリス女学院 10 号館(旧ライジングサン石油会社社宅)	近代建築	中 区	平成 19 (2007) 年度
76	ストロングビル	近代建築	中 区	平成 19 (2007) 年度
77	旧灯台寮護岸	土木産業遺構	中 区	平成 20 (2008) 年度
78	横浜税関遺構 鉄軌道及び転車台	土木産業遺構	中 区	平成 21 (2009) 年度
79	インペリアルビル	近代建築	中 区	平成 22 (2010) 年度
80	慶應義塾大学(日吉)寄宿舎(南寮及び浴場棟)	近代建築	港北区	平成 23 (2011) 年度
81	井伊直弼像台座及び水泉	土木産業遺構	西区	平成 23 (2011) 年度
82	フェリス女学院6号館別館	西洋館	中 区	平成 24 (2012) 年度
83	河合邸	西洋館	中 区	平成 24 (2012) 年度
84	旧神奈川県産業組合館	近代建築	中 区	平成 24 (2012) 年度
85	旧神奈川県労働基準局(元日本綿花横浜支店倉庫)	近代建築	中 区	平成 25 (2013) 年度
86	山手 26 番館	西洋館	中 区	平成 25 (2013) 年度
87	霞橋(旧江ヶ崎跨線橋)	土木産業遺構	中 区	平成 25 (2013) 年度
88	旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫	近代建築	中 区	平成 25 (2013) 年度
89	鈴木家長屋門	古民家	旭 区	平成 26 (2014) 年度
90	田邊家住宅(日吉の森庭園美術館)	古民家	港北区	平成 27 (2015) 年度
91	俣野別邸	西洋館	戸塚区	平成 28 (2016) 年度
92	旧市原重治郎邸	近代和風建築	神奈川区	平成 29 (2017) 年度
93	中山恒三郎家店蔵及び書院	西洋館	都筑区	平成 29 (2017) 年度
94	井土ヶ谷上町第一町内会館(旧井土ヶ谷見番)	近代和風建築	南区	平成 30 (2018) 年度
95	吉野橋	土木産業遺構	南区	平成 30 (2018) 年度

## 横浜市認定解除歴史的建造物一覧表

平成 31 年 3 月末現在  
3 件

	名 称	種 別	所在地	認定時期 認定解除時期
1	横浜松坂屋本館（旧野澤屋横浜松坂屋本館）	近代建築	中 区	平成 16 (2004) 年度認定 平成 22 年 3 月 15 日解除
2	日本ビクター第一工場ファサード	近代建築	神奈川区	平成 11 (1999) 年度認定 平成 22 年 12 月 20 日解除
3	旧新井家住宅主屋（八巻家）	古民家	中 区	平成 12 (2000) 年度認定 平成 30 年 4 月 24 日解除

## 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表

平成 31 年 3 月末現在  
2 件

	名 称	種 別	所在地	契約期間
1	横浜海洋会館	近代建築	中区	平成 22 年 3 月 31 日～ 平成 32 年 3 月 30 日
2	ジャパンエクスプレビル	近代建築	中区	平成 26 年 5 月 7 日～ 平成 36 年 5 月 6 日

## 横浜市指定特定景観形成歴史的建造物一覧表

平成 31 年 3 月末現在  
2 件

	名 称	種 別	所在地	指定時期
1	旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）	古民家	金沢区	平成 27 (2015) 年度
2	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	平成 28 (2016) 年度

## 第 15 期 横浜市歴史的景観保全委員

平成 31 年 3 月末現在  
(五十音順、敬称略)

	氏 名	現 職 等
1	青木 祐介	横浜市ふるさと歴史財団 横浜都市発展記念館 主任調査研究員（有識者）
2	内田 青蔵	神奈川大学 教授（専門：日本近代建築史、日本近代住宅史）
3	大野 敏	横浜国立大学大学院 教授（専門：日本建築史・古建築保存修復）
4	小澤 美那	(株)勝烈庵 山手資料館 館長（歴史的建造物保全活動者）
5	黒田 泰介	関東学院大学教授（専門：歴史的都市と建築の保存・再生）
6	後藤 治	工学院大学 教授（専門：歴史的建築物及び町並の保存修復、歴史的建築物の保存に関わる制度）
7	志澤 政勝	公益財団法人 帆船日本丸記念財団 理事（有識者）
8	嶋田 昌子	NPO 法人横浜シティガイド協会理事（有識者）
9	関 和明	関東学院大学教授（専門：建築史、西洋館）
10	中藤 誠二	関東学院大学教授（専門：土木工学）
11	水沼 淑子	関東学院大学教授（専門：近代日本住宅史）
12	宮 晶子	miya akiko architecture atelier 代表（有識者・建築家）
13	吉田 鋼市	横浜国立大学名誉教授（専門：建築史、近代建築）

※任期 平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日

## 歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績

回	開催年月日	テーマ
1	平成元年 3月 18日	港周辺の近代建築
2	平成元年 8月 26日	ウォーターフロントの歴史的資産
3	平成元年 10月 12日	歴史的環境を生かした都市の再生
4	平成 2年 3月 31日	絹の道 ～市民ネットワーク
5	平成 2年 12月 1日	横浜山手の西洋館
6	平成 3年 3月 16日	茅葺き民家とそのくらし
7	平成 3月 11月 16日	歴史的資産の保全と活用 ー内外事例に学ぶー
8	平成 4年 2月 15日	横浜の洋家具
9	平成 4年 5月 16日	歴史的資産の保全と活用 ーその制度を考えるー
10	平成 5年 11月 23日	日本の近代化を支えた横浜の銀行建築
11	平成 6年 1月 29日	まちなみを文化に昇華する ー歴史的文化的遺産を生かしたまちづくりの方法論・英国・横浜ー
12	平成 7年 2月 25日	都市の記憶を描く！ ー歴史的建造物の見方・描き方ー
13	平成 7年 11月 25日	産業遺産の保存と活用を考えるシンポジウム
14	平成 8年 2月 10日	歴史ある民家や洋館に楽しく住まう
15	平成 8年 6月 25日	来て・見て・感じて！ ー西洋館の移築復元ー(外交官の家)
16	平成 9年 6月 19日	ようこそ外交官の家へ ～国の重要文化財「旧内田家住宅」見学会～
17	平成 10年 3月 7日	横浜の鉄道ものがたり
18	平成 10年 7月 18日	都市の記憶を描く ー関内・山手歴史的建造物絵画展ー(～8月 16日)
19	平成 11年 12月 4日	緑の中の歴史的建造物を訪ねよう ～横浜南部偏～バスで巡る近代建築・古民家見学ツアー～
20	平成 12年 3月 19日	絵画で感じる横浜の歴史
21	平成 13年 1月 27日	新春ファミリー・ウォークラリー ～ぶらり訪ねる金澤・称名寺と駅前の歴史的建造物～
22	平成 13年 3月 4日	建築探偵、横濱に来る！ ～藤森照信氏が語るハマの歴史的建造物の魅力～
23	平成 13年 11月 10日	丘の上の学舎をめぐる～南区の歴史的建造物
24	平成 14年 3月 3日	港ヨコハマの知られざる魅力 ～土木遺産偏～
25	平成 14年 12月 15日	港ヨコハマの移りかわりと行き交う人々 ～絵から読み解く港ヨコハマ～
26	平成 15年 12月 13日	京浜工業地帯と日本自動車産業の成立
27	平成 16年 3月 20日	関内周辺てくてくウォッチング ～歴史的建造物の魅力大発見!!～
28	平成 16年 9月 18日	横浜・谷戸の住まいとくらし ～旧奥津家住宅見学と周辺散策～
29	平成 18年 3月 11日	様式から見た近代建築 ～関内周辺近代建築散策～
30	平成 19年 3月 10日	横浜三塔物語
31	平成 20年 3月 8日	アントニン・レーモンド生誕 120周年記念 建築家アントニン・レーモンドを知る
32	平成 22年 3月 20日	金沢八景と明治の別荘文化 ～旧伊藤博文金沢別邸～
33	平成 23年 11月 6日	近代建築の見方、楽しみ方
34	平成 24年 12月 8日	日吉の近代建築
35	平成 25年 11月 10日	歴史を生かしたまちづくり 25周年 記念講演・シンポジウム

回	開催年月日	テーマ
36	平成 26 年 6 月 9 日	明日の歴史を生かしたまちづくり
37	平成 27 年 2 月 21 日	今を生きる古民家の保存と活用
38	平成 27 年 6 月 24 日	みんなで支える明日の「歴史を生かしたまちづくり」
39	平成 28 年 7 月 16 日	石の記憶
40	平成 29 年 9 月 9 日	震災復興橋梁 in 大岡川
41	平成 30 年 7 月 15 日	いぶし銀のまちづくり: ~生活・文化の視点から、まちを再評価する~

## 歴史的景観保全事業 事業費の推移

(千円)

年度	予算		決算	
	事業費	市債＋一般財源	事業費	市債＋一般財源
平成 17 年度	22,000	22,000	35,615	28,019
平成 18 年度	74,000	74,000	41,507	40,707
平成 19 年度	67,500	62,300	68,867	62,617
平成 20 年度	68,000	48,000	94,370	62,370
平成 21 年度	76,300	52,300	76,098	42,098
平成 22 年度	48,900	7,070	45,496	4,078
平成 23 年度	62,550	15,430	61,124	15,414
平成 24 年度	80,820	80,820	80,356	80,356
平成 25 年度	70,595	70,595	39,718	39,718
平成 26 年度	65,080	65,080	77,074	77,074
平成 27 年度	36,950	36,950	36,044	36,044
平成 28 年度	42,045	32,045	33,710	28,019
平成 29 年度	57,110	41,110	38,130	31,735
平成 30 年度	54,999	41,999	50,865	37,865

## 歴史的景観保全活用事業 横浜サポーターズ寄附金(ふるさと納税)寄附額の推移

年度	企業・団体		個人		計	
	件数	寄附額 (円)	件数	寄附額 (円)	件数	寄附額 (円)
平成 28 年度	1	2,000,000	31	3,658,000	32	5,658,000
平成 29 年度	0	-	45	968,000	45	968,000
平成 30 年度	5	48,100	38	1,265,000	43	1,313,100